

据付説明書

ファイバリア

国土交通大臣認定

PS060WL-0686(コンクリート・ALC壁) PS060FL-0687(コンクリート・ALC床)
PS060WL-0688(中空壁) PS060WL-0689(片壁)

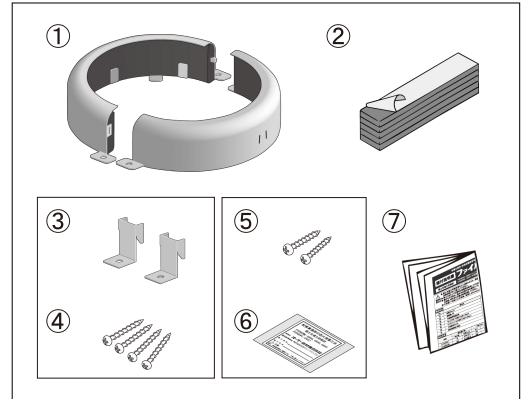


注意

- 国土交通大臣認定書をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
- 施工にあたっては適切な保護具を着用してください。
- 屋外などの防水、撥水の必要がある箇所については別途、防水または撥水処理を施してください。
- 中空壁への施工には別途、板厚0.25mm以上の鋼製スリーブが必要です。別売の「中空壁丸穴スリーブ(K-JIMシリーズ)」等をご使用ください。
- 配管の支持機能はありませんので、別途、配管の支持を確実に行ってください。支持が不十分な場合は、パテに隙間が生じたり落下する原因となります。

構成部品

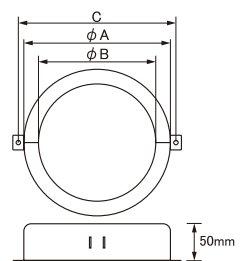
No.	部品名	数量
①	金属キャップ	1組
②	熱膨張パテ	製品仕様参照
③	中空壁用固定金具	2個
④	せっこうボード用ビス(M5×40mm)	4本
⑤	コンクリート・ALC用ビス(M4×32mm)	2本
⑥	工法表示ラベル	1枚
⑦	据付説明書(本書)	1枚



製品仕様

品番	適合開口径		寸法(mm)			パテ数量(枚)
	呼び径	穴径(mm)	φA	φB	C	
K-JAPK75	75	φ80以下	120	80	135	2
K-JAPK100	100	φ110以下	150	110	165	3
K-JAPK125	125	φ135以下	175	135	190	4
K-JAPK150	150	φ160以下	200	160	215	6

金属キャップ



適用配管

配管・ケーブルの種類	主な配管・ケーブル	最大サイズ(mm)		占積率
		配管・ケーブルサイズ	保温材厚み	
銅管※1	被覆冷媒配管 (保温材:発泡ポリエチレン他※2)	φ50.8	20	60.9%以下
銅管	被覆冷媒配管 (保温材:発泡合成ゴム※3)	φ54.0	38	68.9%以下
アルミニウム管	被覆冷媒配管 (保温材:発泡ポリエチレン※2)	φ38.1	20	60.9%以下
可とうポリエチレン管	ドレンホース	φ22	—	
被覆付可とう塩化ビニル管	断熱ドレンホース	φ37	6	
硬質ポリ塩化ビニル管	ドレンパイプ、VP管	VP50(φ60)	—	
被覆付硬質ポリ塩化ビニル管	断熱ドレンパイプ	VP50(φ60)	6	
結露防止層付硬質塩化ビニル管	—	50(φ76)	—	
金属強化ポリエチレン管※4	アルミ三層管	20(φ25.1)	20	
合成樹脂製可とう電線管	PF管、CD管	PF管φ45.5 CD管φ42	—	
ケーブル	IV、VVFなど	CV38mm ² ×3C相当	—	

※1 銅管の他に、鋼管・ステンレス鋼管も適用可能です。

※2 保温材の種類には、発泡ポリエチレン系、発泡架橋ポリエチレン系、発泡ポリウレタン系、発泡ポリスチレン系、発泡ポリプロピレン系、発泡フェノール系、発泡シリコン系、発泡難燃ポリオレフィン系、発泡合成ゴム系(ニトリル、ブチルゴム系)、グラスウール、ロックウールなどが含まれます。

※3 発泡ゴムの種類には、ニトリル、ブチル系ゴムおよび同様の品が含まれます。

※4 金属強化ポリエチレン管は、コンクリート、ALCの壁・床の場合にのみ適用可能です。

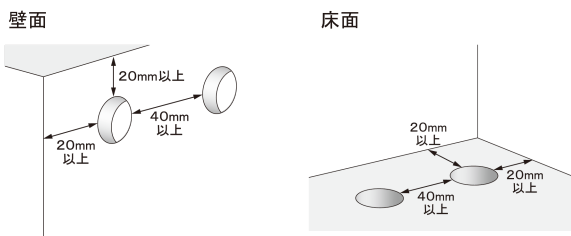
施工上の注意(必ずお読みください)

- 中空壁の場合に限り付属の「中空壁用固定金具」を取り付け、「せっこうボード用ビス」を4本使用してください。
- 配管サイズ・本数に対して開口径(品番)が大きすぎると熱膨張パテが不足する場合がありますのでご注意ください。不足する場合は、別売の「追加用パテ(K-JAPKBP)」をご使用ください。
- 金属キャップは壁・床面に対し堅固に固定してください。万一、ビスがゆるい場合は下穴をあけ直して再度固定してください。
- 共住区画・令8区画にはご使用できません。

施工手順(壁、床共通) ★下図は、中空壁への施工をもとに説明しています。

①開口部の設置

作業スペースを考慮して、開口部は下図の距離をとってください。コアドリルを用いる際は、仕上がり穴径が近いサイズを選んでください。



※配管の支持は貫通部の前後で別途、確実に行ってください。

スリーブの挿入

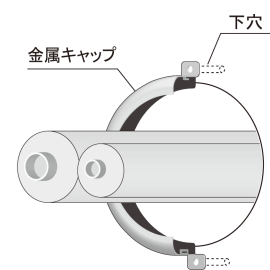
中空壁の場合は、板厚0.25mm以上の鋼製スリーブ(別売品K-JIMシリーズなど)を入れてください。

別売品:
中空壁丸穴スリーブ
(K-JIMシリーズ)

品番	適合開口径 (mm)	適用壁厚 (mm)
K-JIM75	φ 75~80	最大160
K-JIM100	φ 100~110	
K-JIM125	φ 125~135	
K-JIM150	φ 150~160	

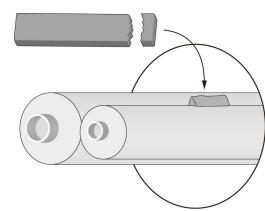
②ビス用下穴の設置(コンクリートの場合)

開口部を中心にして壁面に金属キャップを仮当てし、ドリルでφ3.4×L35~40の下穴をあけてください。

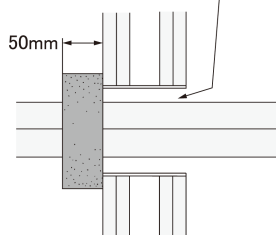


③熱膨張パテの巻き付け

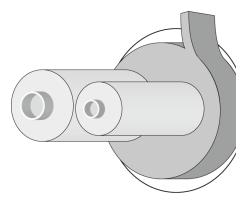
パテを適当な長さに切り、配管の谷間を埋めてください。



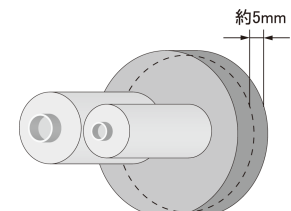
Point! パテは開口部(壁・床面内)に充填する必要はありません。



パテを配管の周囲に巻き付けてください。

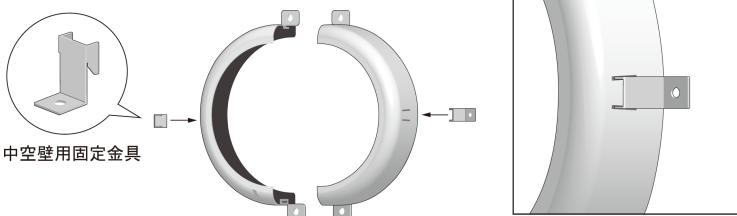


開口部のふちから5mm程度重なるまでパテを巻き付けてください。



④中空壁用固定金具の取り付け ※中空壁の場合のみ

付属の「中空壁用固定金具」を金属キャップの側面にある溝にはめ込んでください。

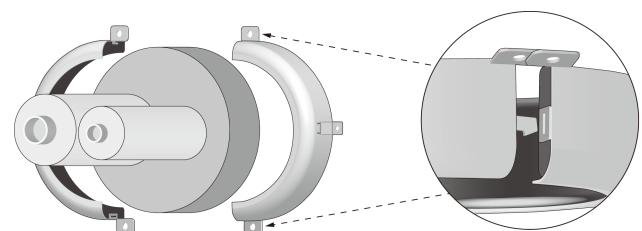


△ 中空壁以外の場合は、不要です。

⑤金属キャップの取り付け

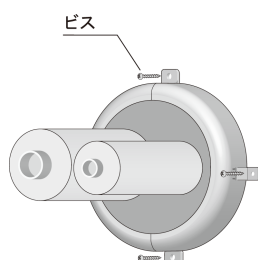
両側から金属キャップを取り付けてください。

その際、金属キャップのかん合部分をはめ込み、金属キャップ全体を壁面に押しあててください。



⑥ビスの締め付け

付属のビスで金属キャップを取り付けてください。



ビスの使い分け

⚠ 中空壁・片壁の場合は、必ず「せっこうボード用ビス」をご使用ください。

適用場所	使用部材	必要本数
コンクリート壁・床	コンクリート・ALC用ビス (M4×32)	2本
ALC壁・床		
片壁	せっこうボード用ビス (M5×40)	4本
中空壁		

⑦仕上げ

隙間がある場合や、表面に凹凸がある場合は残りのパテを使い仕上げてください。

完成図

